

# 2010年 長野県 子どもの健康週間

未来の子どもたちのために  
環境について考えてみませんか？

入場  
無料

託児室  
利用無料



日時：2010年10月3日(日) 13:15～16:00

(開場12:30 開会13:15)

場所：長野県伊那文化会館小ホール

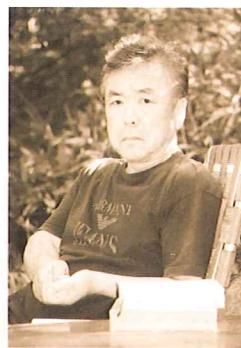
(長野県伊那市西町5776 TEL.0265-73-8822)

特別講演

13:30～14:40

## 映画 こども 故郷

神山 征二郎  
(映画監督)



パネルディスカッション

14:50～15:50

## 子どもの育ちと環境

子どもの健康と環境に関する  
全国調査(エコチル調査)に期待すること

パネリスト

- エコチル調査について 新田 裕史 (国立環境研究所)
- 医療の立場から 藤原 明彦 (伊那中央病院小児科)
- 母親と食生活の視点で 新 久代 (母親・お菓子料理家)
- 教育の視点で 小林みゆき (高遠小学校)
- 臨床心理士の立場から 吉澤 智子 (臨床心理士)
- 上伊那地域のエコチル 野見山哲生 (信州大学医学部)

主催：長野県小児保健協会、信州大学医学部小児環境疫学センター

共催：長野県小児科医会

後援：伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、宮田村、中川村、  
信州大学医学部、長野県立看護大学、伊那保健福祉事務所、上伊那医師会、  
上伊那歯科医師会、伊那市医師会、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、  
SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、  
伊那ケーブルテレビジョン、いなあいネット (伊那市有線放送)

事務局：2010年長野県子どもの健康週間事務局

〒396-8555 長野県伊那市小四郎久保1313-1  
伊那中央病院小児科

伊那中央病院

TEL.0265-72-3121 FAX.0265-78-2248

## ■ 2010年長野県子どもの健康週間プログラム

12:30	開 場
13:15	開 会
13:30~14:40	特別講演：『映画 こども 故郷』 座長：川合 博（伊那中央病院院長） 演者：神山 征二郎（映画監督）
14:40~14:50	休 憩
14:50~15:50	パネルディスカッション：『子どもの育ちと環境』 —子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）に期待すること— 司会：野見山 哲生（信州大学医学部），藪原 明彦（伊那中央病院小児科） パネリスト： (1) エコチル調査について 新田 裕史（国立環境研究所） (2) 医療の立場から 藪原 明彦（伊那中央病院小児科） (3) 母親と食生活の視点で 新 久代（母親・お菓子料理家） (4) 教育の視点で 小林みゆき（高遠小学校） (5) 臨床心理士の立場から 吉澤 智子（臨床心理士） (6) 上伊那地域のエコチル 野見山哲生（信州大学医学部）
16:00	閉 会

※開催中ロビーにてポスター展示「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」を行っています。

### ■ 神山征二郎（映画監督）

1941年岐阜県生まれ。1963年に日本大学芸術学部映画学科を肋膜炎のために中退し、その後1965年に新藤兼人監督が主宰する近代映画協会に参加する。新藤兼人、吉村公三郎、今井正吾監督の助監督を務めた後、1971年に監督第一作『鯉のいる村』を発表。1983年には『ふるさと』で、岐阜県のダム建設でふるさとを失う老人と少年を描き、内外で多数の映画賞を受賞。1987年に『ハチ公物語』を発表し大ヒットした。1988年に「神山プロダクション」を設立し、以後ヒューマニズ

ムあふれる本格的な作品を次々と発表し、人気を博する。正統的な社会派映画監督で、日本映画界を担う世界的な実力派監督である。小県郡長和町に「神山プロダクション長野事務所」をおき、後藤俊夫映画監督とも親交が深く、上田市で『ラストゲーム最後の早慶戦』を撮影するなど長野県とも関わりが深い。代表作にはほかに、『白い手』、『遠き落日』、『月光の夏』、『ひめゆりの塔』、『三たびの海峡』、『郡上一揆』、『北辰斜にさすところ』などがある。



### ■ 神山征二郎監督の主な作品

鯉のいる村（1971年）、時計は生きていた（1973年）、二つのハーモニカ（1976年）、あすも夕やけ（1977年）、看護婦のオヤジがんばる（1980年）、日本フィルハーモニー物語一炎の第五楽章（1981年）、ふるさと（1983年）、春駒のうた（1986年）、旅路・村でいちばんの首吊の木（1986年）、ハチ公物語（1987年）、千羽づる（1989年）、伊勢湾台風物語（1989年）、ドンマ

イ（1990年）、白い手（1990年）、遠き落日（1992年）、月光の夏（1993年）、さくら（1994年）、ひめゆりの塔（1995年）、三たびの海峡（1995年）、マヤの一生（1996年）、宮沢賢治—その愛（1996年）、郡上一揆（2000年）、大河の一滴（2001年）、草の乱（2004年）、北辰斜にさすところ（2007年）、ラストゲーム最後の早慶戦（2008年）、鶴彬—こころの軌跡（2009年）

### ■ エコチル調査について

“エコチル調査”とは、環境省が行う『子どもの健康と環境に関する全国調査』の愛称です。この調査は、2011年から21年間の長期にわたって全国各地の10万人のお母さんや子どもたちに参加していただき、環境物質や生活環境が子どもたちの成長や発達にどのような影響を与えるか科学的に明らかにしようとするものです。長野県ではその調査対象地域として上伊那地域が選ばれました。

人々を取り巻く社会環境や生活環境は大きく変わってきました。それにともなって、環境の汚染や変化が子どもたちの健康に悪影響を及ぼす（環境リスクが増大している）のではないかと危惧されています。なかでも、化学物質などの環境中の有害物が子どもの発育にもたらす影響について国内外で関心を集めています。日々の生活

のまわりでも心配なものがいっぱいありますが、それがどのように影響するかは意外と分かっていないのが現状です。エコチル調査はこのようなことを明らかにし、次世代を担う子どもたちの健やかに育つ環境が実現することを目指しています。

調査される環境要因として残留性有機汚染物質や農薬などの化学物質のほか、社会要因、生活習慣要因にも目が向けられます。子どもたちの健康については、肥満や発達障害、アレルギー疾患、心疾患などの病気・特性と環境の関係や、出生時体重、性比などにも注目して調査が進められます。

調査の実施にはすべての人たちの理解と協力が必要です。この“エコチル調査”に協力していただきますようお願い申し上げます。

